

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年5月14日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	上田 周二
レジメン名	R-MA(60歳以上)	化学療法委員会承認年月	平成 30年 6月
疾患名	非ホジキンリンパ腫	適応の備考	CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫
適応分類			60歳未満の患者はR-MA(60歳未満)を使用する
1コース日数	21 日間	総コース数	4 コース
			催吐性リスク day1:最小度、day2-4:中等度

抗がん剤投与量・投与日 リツキシマブ375mg/m² day1 メトレキセート1000mg/m² day2、シタラピン1000mg/m² × 2 day3,4
 治療スケジュール・投与日程(投与日は●)
 (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																					
	点滴静注	ブライミング用	/	/																						
2	側管①	生食500mL	0.675 本 / m ²		●																					
	点滴静注	リツキシマブ注	375 mg / m ²	下記	●																					
10倍に希釈する。																										
3	側管①	グラニセトロン注ハック1mg/50mL	1 本 / body			●	●	●																		
	点滴静注	デキササート注6.6mg	1 本 / body	30 分		●	●	●																		
		デキササート注1.65mg	2 本 / body				●	●	●																	
4	側管②	生食100mL	1 本 / body			●																				
	精密持続静注	メトレキセート注	200 mg / m ²	60 分		●																				
5	側管②	生食500mL	1 本 / body			●																				
	精密持続静注	メトレキセート注	800 mg / m ²	23 時間		●																				
6	側管①	生食50mL	1 本 / body				●	●	●																	
	点滴静注	アインボリン点滴静注 ロイコボリン注として15mg/body × 8回	7.5 mg / body	5 分			●	●	●																	
メトレキセート投与開始36時間後に投与開始し、その後6時間毎に計8回投与する。																										
7	側管②	生食500mL	1 本 / body				●	●																		
	点滴静注	シタラピン注	1000 mg / m ²	2 時間			●	●																		
1日2回12時間毎に投与 60歳未満は、2000mg/m ² で投与																										
8	側管②	生食500mL	1 本 / body				●	●																		
	点滴静注	シタラピン注	1000 mg / m ²	2 時間			●	●																		
1日2回12時間毎に投与 60歳未満は、2000mg/m ² で投与																										
9	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●	●	●	●																		
	点滴静注	/	/	/																						
経口投与		ボララミン錠2mg	1-3 錠 / body			●																				
		ジクロフェナクNa錠25mg	1 錠 / body			●																				
リツキシマブ投与の30分前																										

【投与上の注意】

シタラピン: 60才以上では、シタラピンを1000mg/m² 12時間毎に変更する。
 シタラピン: 大量投与時、結膜炎予防のためのステロイド点眼を行う。例えば0.1%フルメトロン点眼、1日3回、両眼、シタラピン投与前日から投与終了の翌日まで。
 メトレキセート: 血中濃度を測定する。
 リツキシマブ: 前投薬としてボララミン(2)1~3錠、ジクロフェナクNa(25)1錠を内服する。
 リツキシマブ: 初回はECGモニターをつける。
 リツキシマブ: 投与速度 初回は50mL/hで開始し、30分毎に50mL/hずつ上げ、最大400mL/hまで。
 リツキシマブ: 投与速度 2回目以降は、医師の指示により、投与方法①、②から選択
 投与方法①: 初回投与時に発現した副作用が軽微な場合、100mL/hで開始、30分毎に100mL/hずつ上げ、最大400mL/hまで。
 投与方法②: 臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/μL未満の場合、最初の30分で投与量の20%を投与、残り60分で投与量の80%を投与(90分間で投与)。
 ロイコボリン: メトレキセート投与開始36時間後に投与開始し、15mg/bodyを6時間毎に計8回投与する。
 day1-5は、主ルートにメイロン7% 20mL等を加えた輸液を投与する
 ・day2-4のデキササート注は、6.6mgでもよい。